



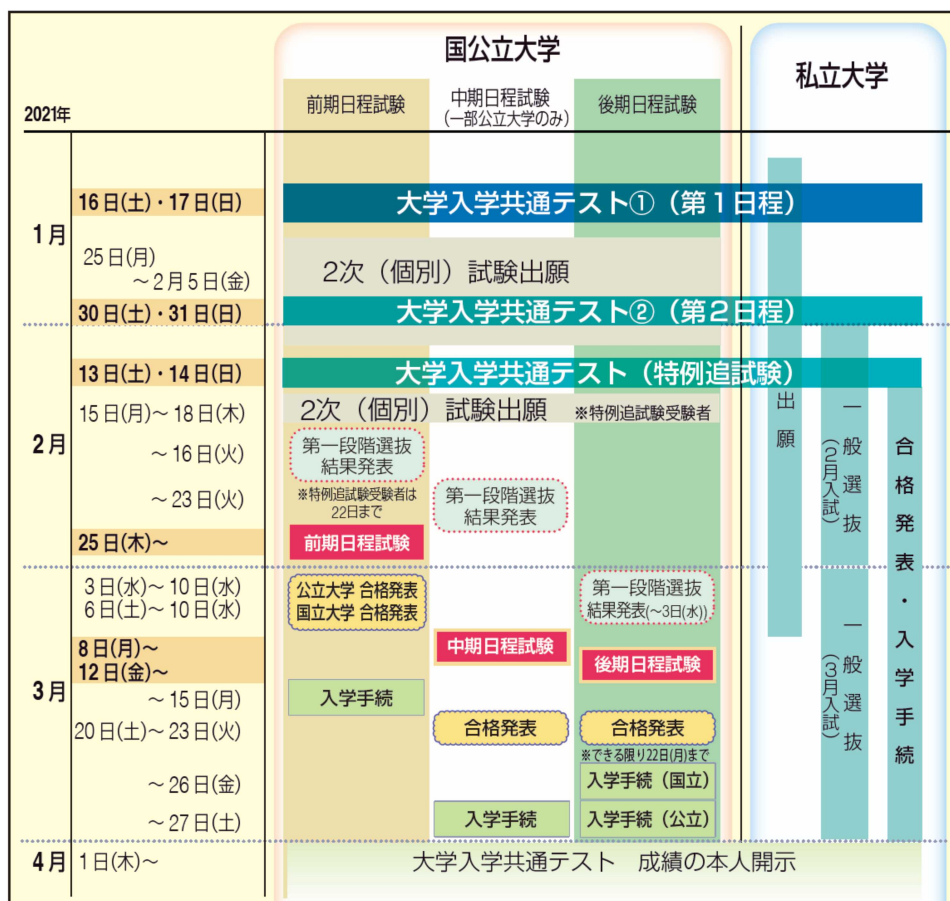
## <大学入学共通テスト説明会実施>

9月4日(金)に3年生を対象に**大学入学共通テストの説明会**を行いました。いつもは、受験希望者を視聴覚室に集めて行うのですが、今年は新型コロナ対策のため、各教室に映像を配信するやり方で実施しました。今年は、昨年までの大学入試センター試験から新たに大学入学共通テストに切り替わる初年度ということになりますが、それに加えて、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う実施日程の変更などもあり、**これまでのセンター試験以上に出願には注意を要します**。説明会では、実際に使用する願書を全員に配布し、進路担当の一瀬先生から、願書の記入の仕方や検定料の納入の仕方などについて丁寧な説明が行われました。受験予定者は指示に従い、締め切りなどを厳守して志願の準備を進めてください。また**今年は二つ設定されている受験日程のうち、どちらで受験するかを出願時に選択しなければなりません**。日程選択のメリット・デメリットについては生徒の皆さんには担任の先生を通じて既に伝えられており、また保護者の方々にも7月の保護者会で説明されています。ぜひ、家庭でよく相談し、慎重に日程を選ぶようお願いいたします。また**志願後は如何なる理由があっても、日程の変更はできません**ので、その点には特に注意してください。今年は10月2日が大安吉日になっていますので、その日に一括して出願を行う予定です。今後の入試のスケジュールについては、以下の通りです。

### 10月の進路関係行事

- 1(木) 第3回定期試験[~6(火)]
- 8(木) 教養講演会(5~7授業と放課後課外なし)
- 9(金) 進路講演会③  
職業人講話②  
進路希望調査①②
- 10(土) 進駿記述模試③  
駿台①②
- 14(水) 公開授業(pm)
- 15(木) 公開授業(pm)
- 17(土) 全統記述模試③
- 18(日) 大学別模試③
- 19(月) 成績会議・職員会議
- 23(金) 大学別模試③
- 24(土) 新人大会[~25(日)]  
大学別模試③
- 26(月) 学校創立記念日
- 28(水) 三者懇談期間①②  
[~30日(金)]
- 30(金) 進駿共通テ模試③
- 31(土) 進研①②  
進駿共通テ模試③  
大学別模試③

※○数字は学年を示します



東進進学情報より

## <1年生対象 模擬裁判 実施>



9月18日（金）のフロンティア探究とLHRの時間を利用して、1学年の生徒を対象に「**模擬裁判**」を実施しました。例年は各クラスに1名の弁護士の方をお招きし、クラスごとに模擬裁判を行っていましたが、今年はコロナウイルス感染防止対策として3密を回避するため、広い会場を確保する必要があり、体育館を会場として実施しました。今回講師としていらっしゃる**弁護士**の**太田道昭**さんは本校OBで、県内の法律事務所でお仕事をされています。今回の模擬裁判では、まず最初に各クラスから選出された6名の生徒により、「DVDの窃盗事件」を想定した模擬裁判を実演してもらいました。（上の写真がその様子です）その後、裁判を傍聴した立場で、各自が容疑者の「有罪・無罪」を考え、意見発表を行いました。講師の太田さんからは「いくつかの学校で模擬裁判を行っていますが、事前にしっかりと裁判のシナリオを読み込んで練習した様子が見え、さすが南高の生徒だと思いました。」とお褒めの言葉をいただきました。また太田さんは「最後の意見発表でも、生徒によって、有罪だと思う人、無罪だと考える人、裁判の様子からだけでは決めかねるという人と、意見が分かれ、同じ裁判を傍聴しているにもかかわらず、見ている人により判断が異なることがよくわかったと思います。今回の模擬裁判を通じて、裁判というものに興味を持つと同時に、裁判の難しさも感じてもらえたら幸いです。」とおっしゃっていました。まだまだ暑さの残る体育館での実施となり、1年生の皆さんにとっては少し大変だったかもしれませんが、今回の行事に真摯に臨む皆さんの姿は立派でした。また、個人的なこととなりますが、今回の模擬裁判で来校された太田弁護士は、南高で同じ時間をともに過ごした私の同期生であり、短い時間ではありましたが高校時代の思い出話もでき、久闊を叙すよい機会になりました。

## <進路を考えるヒント：「はずれ者が進化をつくる」>

NO IMAGE

今回の進路を考えるヒントは本の紹介です。タイトルは『**はずれ者が進化をつくる**』（稲垣栄洋著・ちくまプリマー新書）です。現在、イトーヨーカドー昭和店2階の柳正堂書店では、「小・中・高校司書の先生が選んだコロナ禍に読んでもらいたい本セレクション」という展示が実施されているのですが、この本は**本校の司書、長谷部友子**さんが選んだオススメの本になります。本の専門家である司書さんが推薦する本であればはずれはないだろうと思い、早速、本校の図書館で借りて読んでみました。

著者である稲垣栄洋（イナガキヒデヒロ）氏は、静岡大学大学院の教授をされている研究者ですが、その専攻はなんと「**雑草生態学**」（！）だそうです。「雑草」を研究している人というだけでも興味が湧いてきますが、本書では雑草の話はもちろんですが、そこから様々な生き物の生態をヒントにしながら、**私たち人間の在り方**について読者に考えさせる構成となっており、示唆に富んだ良書だと思います。

本書では、章立てが学校の授業のように「○時間目」のようになっていますが、一時間目は「**個性**」とは何か？ということについて述べられています。ここでも、筆者はまず「雑草は私たちのイメージとは異なり非常に育てるのが難しい」という話から「個性」について語り始め、植物にとっての個性の必要性和不必要性、さらには人間の個性と社会性にまで話が及びます。筆者はその中の一節で「**個性とは生き抜くために与えられた能力です。個性は生きるためのあなたの武器です。**」と述べ、それに続けて「**みんなと同じ制服を着ていても、みんなと整列をしていても、あなたの個性は失われることはありません。むしろ、個性はその中でこそ輝いているものなのです。**」と述べます。私はこの部分を読んだ際、「まさにその通り！」と筆者の主張に膝を打ったのでした。思春期の時には「個性」を誤解して、「変わったことをするのが個性的なのだ」と思ってしまうがちですが、そんな人にはぜひ本書を一読して「個性」とは何かを考えて欲しいと思います。また、本書はプリマー新書ということもあり、ティーンエイジャーに向けたメッセージも多分に含まれています。現在、私たちの生活は、長引くコロナ禍のために、様々な制限を受けており、単調に日々が過ぎていくだけの生活になりがちです。そのため、なんとなく気持ちが沈んでいる人も少なくないのではないかと思います。そんな人にはぜひ、本書を読んで、「**生きる**」ことのすばらしさや、「**自分**」であることに**自信を持つこと**の大切さなど、筆者から送られるエールを受け取り、様々な困難を乗り越える力にして欲しいと思います。